

平成29年度 名古屋高速道路公社入札監視委員会の結果について

開催日及び場所	平成29年6月13日(火) 名古屋高速道路公社本社2階大会議室	
委員	北條 政郎(委員長 弁護士)・張 鋒(大学教授)・野田 直季(公認会計士) (敬称略)	
審議対象期間	平成28年4月1日～平成29年3月31日	
抽出事案 〔工事〕	総件数 2件	
・ 一般競争入札	(総合評価落札方式) 2件	平成28年度高速3号大高線床版等修繕工事(石元工区)
		平成28年度ETC端末設備製作工事
抽出事案 〔建設コンサルタント業務等〕	総件数 2件	
・ 簡易公募型プロポーザル方式	1件	平成28年度雪氷作業効率化検討業務委託
・ 随意契約	1件	平成28年度交通量データ管理及びシステム保守等業務委託
委員の質問等 に対する回答	質問	回答
	別紙のとおり	別紙のとおり
講評	<p>①今後とも低入札による弊害が生じることのないように、適切な入札管理を進めていただきたい。</p> <p>②交通量が増大してくる愛知・東海の産業基盤を支える高速道路網として、今後とも交通安全の確保、あるいは緊急時の対応体制の整備などに、より注力し、維持管理の徹底に努めていただきたい。そのためにも、適切な事業者を適切に選定するという健全な入札手続きが求められており、今後とも努力をしてほしい。</p>	

委員の質問等に対する回答

1) 工事

抽出事案	質問	回答
①平成28年度高速3号大高線床版等修繕工事(石元工区)【一般競争】	当初発注時に不調となり、再発注した工事であるため以下の点について知りたい。 ・見直した内容 ・参加者が減った理由 ・落札率が高かった理由	見直した主な内容は、鉄道跨線部上空での足場の設置解体を除外したこと、鉄道管理者が定める有資格者の配置を下請でも可能としたことである。 また、参加者については、再発注時には、当初発注した7工区のうち6工区の落札者が決定していたことにより、減ったものと推測される。 なお、落札率が高くなったことについての明確な理由はわからない。
②平成28年度ETC端末設備製作工事【一般競争】	参加者が4者と少なく、落札率が低かった理由は。	参加者については、工事発注前にコリンズで同種工事の実績がある会社を検索した結果は8者あり、そのうち4者から申請があったので、極端に少なかったとは考えていない。 また、落札率については、本工事の受注者は公社のETC設備工事に関しては新規参入業者であり、技術提案における大幅な工期短縮の提案とあわせ、価格面においても低価格での入札をしたものと推測される。

2) 建設コンサルタント業務等

抽出事案	質問	回答
①平成28年度雪氷作業効率化検討業務委託【簡易公募型プロポーザル方式】	落札率が100%の理由は。	本業務は、積雪による通行止めでお客サービスが低下しないようにする必要があることから、雪氷作業の効率化・迅速化を目的としており、価格より技術に重点をおいている。そのため、通常は一般競争入札方式で行うが、プロポーザル方式にして、技術提案の評価が最も高いものを特定し、その提案の内容を尊重するため、特定した業者と随意契約する方式に変更した。予定価格については、特定した業者の見積もりを参考に作成するため、100%になったと推測される。
②平成28年度交通量データ管理及びシステム保守等業務委託【随意契約】	見積回数が3回であった理由は。	契約予定の相手方に事前に直接人件費と直接経費について見積もりを徴収している。これに基づき、公社の公表されている積算基準を用いて予定価格を算出した。見積回数が3回となったことについての明確な理由はわからない。